

自民党

埼玉県第13選挙区支部

三ツ林ひろみ通信

2025年5月号

埼玉十三区 地元発展のため
皆さまの声を力に活動中!

ごあいさつ

地元のために、国のために
期待に応えてまいります。

三ツ林ひろみです。日頃より皆さまにお支えいただき、ありがとうございます。

本年4月4日、党本部より自民党埼玉県第十三選挙区支部の支部長に選任されました。これからも引き続き捲土重来を期し、地元・埼玉十三区の皆さまと、わが国の未来と地元発展のために全力を尽くして、政治活動を続けてまいります。

皆さまのご指導、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度予算成立
米、ガソリン価格高騰に歯止めを

3月31日、令和7年度予算が成立しました。総額約115兆円、国民生活に「豊かさ」と、「安心」を国民に届けるため、政府与党は着実な執行を進めてまいります。国民の生活実感として、物価高

対策とそれを上回る賃金上昇をいかに実現するか、とりわけ関心の高い米、ガソリン等々にどう対応するかは喫緊の課題です。米の価格高騰については、政府は備蓄米放出を行い、市場流通量の拡大を図っています。その一方で、生産者である農家の現場の声として、暖冬と猛暑、カメムシ被害の拡大等による不作から、そもそも収穫量自体が不足しているという実感が強くあります。埼玉県東部では昨夏、前年比7倍のカメムシが確認されたとして、米だけではなく果樹農家にも甚大な被害が生じています。こうした現場の声を政府与党にしっかりと届けてまいります。

ガソリンについては、激変緩和事業による小売価格を抑制するための支援を継続中です。トリガー条項発動よりも、国・地方自治体の税収減少を回避できる上に、軽油を含めて、農業・漁業への効果や物流コストへの即効性も高い補助金支給を継続していくほうがよいと考えられます。引き続き、政

府に対して適切かつ必要な施策の継続を求めたいと思います。
高額医療制度はじめ
山積する課題に迅速に取り組み

また、高額療養費制度の見直しについて、石破茂総理は8月の引き上げ見送りを表明しましたが、この件に関しても、医療の現場を知る私がしっかりと声を上げ続けていけば、より迅速で適切な、判断ができたものと感じています。同時に、一刻も早く国政に復帰せねばとの強い思いがあります。今回の予算では「人材尊重社会を実現する」。そのために、まずは「高校無償化」「小学校の給食無償化」にも取り組んでいます。

ただ、高校無償化については、結果として私立高校との競争によつて公立高校の存続自体が危うくなるという懸念があります。確かに、魅力的な私立の教育が大いに意義深いのです。一方、公立は地域にとつて必要不可欠な教育機関です。むしろ必要なのは公立の質、強みや魅力を伸ばす施策であり、教育格差や地域格差を縮小するために公費が投入されるべきであると考えます。本当に大切なのは全ての子供たちに学ぶ機会を保障するため、最大限の効果を追及することです。

そして、いわゆる「103万円の壁」の見直しについて、とりあえずは納税者の8割強を対象とした基礎控除の上乗せが今回実現しています。物価上昇を踏まえての見直しは継続課題ですが、与党だからこそ実現できる、国民に成果で応える自民党であることを、私も改めて訴えていきたいと思っています。地元、埼玉十三区においても、課題は山積しています。多くの皆さまと対話し、皆さまの声を力にして、糧にして、日々活動をしているところです。

これからも自民党の一員として、地元、現場の声を届けるべく、全力を尽くしてまいります。

前衆議院議員・医師

三ツ林ひろみ

家計を豊かに

総額1.2兆円規模の所得税減税

基礎控除を引き上げ、課税最低限を103万円から160万円に。中所得者層への物価高対策として、1人当たり2~4万円の減税を実施。

薬価改定で国民負担を軽減(マイナス2466億円)

公務員、教職員、保育士の給与改善

公共工事の設計労務単価引き上げ

教職員の処遇改善等

あらゆる分野の
賃上げを実現

経済を強く豊かに

「賃上げと投資がけん引する成長型経済」実現へ、成長分野に重点。
国内総生産(GDP)600兆円からさらなる高みを目指す。

★科学技術・イノベーション

人工知能(AI)、量子、健康・医療分野等の重点分野の研究開発を推進。国際性の高い研究や若手研究者への支援を強化。



★GX・半導体

「GX2040ビジョン」で分野別の投資戦略を改定。「GX経済移行債」により、引き続き、官民のGX投資を支援。「AI・半導体産業基盤強化フレーム」に基づき、金融支援、拠点整備等を実施。令和6年度補正を合わせて1.9兆円規模の支援を実施。

地方創生2.0 で豊かに

「地方こそ成長の主役」

「産官学金労言」の議論を踏まえた地域独自の取り組みを強力に支援するため、地方創生の交付金を倍増(当初予算で2千億円)。新しい生活環境の創生と、付加価値創出型の新しい地方経済の創生を支援。

訪日観光客15兆円目標達成へ、地域の自然環境や文化資源を生かした観光コンテンツの充実。

地方交付税は約18.9兆円。臨時財政対策債の発行額を平成13年の制度創設以来、初のゼロに。地方財政の健全化も推進。

防災体制をより強く

内閣府防災担当の人員を倍増

(令和6年度110人⇒同7年度220人)

内閣府防災の予算を倍増

(73億円⇒146億円)

避難所環境の抜本的改善、災害対応の司令塔機能の強化等

気象研究所予算を倍増

災害復旧予算の柔軟化・手続き簡素化

能登半島地震の教訓を反映した制度創設・拡充

(事業関連携防等事業の拡充、直轄特定緊急地すべり対策事業の創設)



豊かさと安心を

国民に届ける

令和7年度予算のポイント

子育て世帯を豊かに

「こども未来戦略」の加速化プラン(3.6兆円規模)を本格実施。令和7年度予算で8割超が実現する見込み。

①経済的支援の強化

- ・妊婦のための支援給付の創設(妊娠、出産時の相談とあわせて各5万円を給付)
- ・高等教育の負担軽減の抜本強化(多子世帯の大学無償化、高校授業料11.8万円支給は令和7年度に所得制限を撤廃)

②保育の質の向上

- ・保育士等の処遇改善(10.7%の大幅増額)
- ・1歳児の配置改善(職場環境改善を進めている施設において5対1を実現)
- ・「こどもで誰でも通園制度」の制度化

③育休制度の充実

- ・育休給付を一定期間、手取り10割に拡充(現行8割)
- ・時短勤務時の給付を創設



プロフィール

前衆議院議員・医師・医学博士

昭和30年9月7日 埼玉県幸手市生まれ
埼玉県立春日部高等学校卒業
日本大学医学部卒業
春日部市立病院、志木市立救急市民病院
勤務を経て、日本大学医学部客員教授
日本歯科大学特任教授(同名誉教授)
埼玉県バレーボール協会会長
葛西用水路土地改良区理事長
埼玉県土地改良事業団体連合会会長
自由民主党埼玉県第13選挙区支部長
これまで、
内閣府副大臣(拉致問題、地方創生、少
子化対策、子ども・子育て支援、健康医
療戦略、孤独・孤立対策、科学技術イノ
ベーション政策等担当)、厚生労働大臣
政務官、衆議院厚生労働委員長、自由民
主党副幹事長、国会対策副委員長、衆議
院議院運営委員会理事、
衆議院議員(小選挙区当選4回)等を歴任
柔道初段、剣道三段、詩吟八段

(埼玉県東部地区)

埼玉13区
久喜市 蓮田市
幸手市 白岡市
伊奈町 宮代町
杉戸町



三ッ林ひろみ 地元の課題を訴えつつ駆け回る



日本医師会の松本吉郎会長
と医療現場の課題について
意見交換



日本歯科医師会の高橋英登会長、
日本歯科医師連盟の太田謙司会長
と、歯科医療の課題を協議



JA埼玉県中央会の坂本富雄
代表理事会長と農政課題につ
いて対話



埼玉県土地改良事業団体連合会による
大野元裕知事と県幹部への要望活動



市長・町長と密接に連携



埼玉県十三区内(4市3町)の市長・町長と連携を密にし、課題解決に努める

地下鉄7号線(埼玉高速鉄道)の延伸に対する期待が改めて高まっています。さいたま市都市戦略本部によれば、費用便益比の改善により30年以内の黒字転換と、都市鉄道等利便増進法の活用への道筋が見えてきました。

かつては、地元からの要望を受けて、新白岡駅設置や蓮田駅の橋上駅舎の設置などを実現した事例があります。やはり政治力が必要です。

鉄道ネットワークの強化は住民の安全・安心と、国土強靱化につながる事業であると考えます。当面の岩槻までから蓮田以北へ、さ



蓮田市で開催された地下鉄7号線建設誘致期成同盟会総会

地下鉄7号線の蓮田市方面延伸 国土強靱化につながる事業として推進すべき

らに鉄道空白エリアである白岡市大山地区、久喜市菖蒲地区を経て羽生までの延伸につなげるべく、今後も全力を尽くしてまいります。

昨年6月、利根医療圏に関係する埼玉県議会議員8名と共に、武見敬三厚生労働大臣(当時)に地域医療整備に関する要望書を提出しました。厚生労働省の担当者と交えて協議し、668床の病床の増床が認められました。つまり、病院の誘致が可能となりました。これを受けて、地元においても積極的に取り組みを進めるべく、地元首長、議会の関係者の皆さまと連携して調整を進めています。特に埼玉県東部地域では、新たな病院誘致に向けての期待は大きく、一方で病床の確保等に関する国・県とのさまざまな調整が必要



です。

地域医療の充実、医師でもある私の最も重要な政治課題でもあります。大野元裕知事、地元の市長・町長、県議会、市議会、町議会、そして医師会や関係企業・団体とも密接に連携しながら、これを具体的に前に進めるべく取り組んでまいります。

埼玉東部に地域医療の新たな拠点 小児救急医療、高度急性期医療の充実に奔走

自民党埼玉県第十三選挙区支部 三ッ林ひろみ事務所

【幸手事務所】〒340-0161 幸手市千塚 490
TEL: 0480 (42) 3535 FAX: 0480 (43) 3535

【杉戸事務所】〒345-0025 北葛飾郡杉戸町清地 2-16-7
TEL: 0480 (38) 6963 FAX: 0480 (38) 6918

【蓮田事務所】〒349-0104 蓮田市緑町 1-9-5
TEL: 048 (812) 7131 FAX: 048 (812) 7161

三ッ林ひろみ
の活動を
発信中



・ホームページ
・Facebook
・Instagram



利根医療圏の県議会議員が一丸となり、三ッ林ひろみ衆議院議員とともに地域医療の充実を武見敬三厚生労働大臣に要望(令和6年6月11日)
左から渡辺聡一郎(白岡・宮代)、千葉達也(加須)、高橋稔裕(加須)、野中厚衆議院議員、三ッ林ひろみ衆議院議員、武見大臣、小島信昭(岩槻)、梅澤佳一(久喜)、吉良英敏(幸手・杉戸)、柿沼貴志(行田)、森伊久磨(蓮田) 各県議会議員